

調査研究部門では、東日本大震災における被災地支援として以下の取組を行っています。

● 震災後のコミュニティ形成に関する記録作成

甚大な被害を受けた岩手県大槌町の吉里吉里地区を中心に活動を行う明治学院大学ボランティアセンターの活動に関わりつつ、被災地における震災後のコミュニティ形成に着目し、人と人のつながりの変化と生活サービスの創出過程などについて、記録をしています。

こうした取組によって、被災地でのコミュニティづくりや、今後、起こり得る同様な災害時における被災者支援のあり方を検討する基礎的資料を提供することができます。



大槌町ボランティアセンターの壁面に掲示された各避難所のニーズ



避難所前の井戸端会議の様子

● 学生を中心としたボランティア活動者への情報提供

明治学院大学ボランティアセンターの活動を支援することを目的とし、社会科学や社会福祉学科の教職員の専門性を活かした情報提供を行います。また、必要に応じて、活動日の夕方に行われる学生同士のふりかえりの場に参加し、アドバイスをしています。



活動日の夕方に行われている振り返りの会の様子



連携する岩手県立大学ボランティアセンターを訪問